

将来の日本を支えるには活力エンジンが必要

国際競争力を有する産業を伸ばし、日本全体の経済や地域経済を牽引する我が国の強い分野、今後の成長が期待される新産業

- ・情報家電産業
- ・コンテンツ産業
- ・ロボット産業
- ・燃料電池
- ・ソフト系IT産業
- ・バイオ産業など

国際競争力のある産業を起こすには、豊富なビジネスアイデアや新技術の開発、コラボレーションが必要

一方で、地域特性を踏まえた地域産業強化により雇用確保、地域自立

知的創造力が国際競争力の源泉

産業技術政策と空間形成・インフラ整備の有機的結合による知的創造力の強化

先端産業・技術

コアとなる先端産業群の形成
(選択と集中)
・拠点形成 ・研究開発 ・支援

人・資金・事業環境

人材結合
・Face to Faceによる活発な情報交換
・コーディネーター
・産学官広域的ネットワーク
・吸引力となる世界水準の研究機関
・技術力のある中小企業群の形成

創業支援
・立ち上げ資金の支援
・地域のブランド力
・インキュベータ施設の提供
・ユーザーとなる企業の集積

投資誘導地区
・固定資産税の減免等

海外からの人材・資金の誘致
・優秀な外国人研究者や留学生の誘致
・海外企業、人材へのワンストップライフサポート
・海外への情報発信
・留学生の国内企業での登用
・在留外国人のための各種規制緩和
・外国人研究者 ・留学生の登用

人材育成
・産学官共同による地域一体の人材育成
・高度な技術者の育成(団塊世代の活用等)

関連産業の集積
・中小企業の集積
・サポーティングインダストリーの存在

市場
・人口集積 ・数多くの消費者

都市空間
・職住遊知医の複合空間の形成
・企業・研究機関の立地環境整備
・都市環境インフラ
・良好な居住環境、医療環境、教育環境
・外国人も使いやすい案内表示

アクセシビリティの強化
・都市鉄道網等交通インフラの整備
・国際交通インフラの充実、アクセス強化

国際交通インフラ
・産業のためのインフラの充実、結節強化
・物流効率化

文化資本の立地誘導

ITインフラの整備

空間形成・インフラの整備

既存の人口・産業・インフラの集積の活用

知的創造力強化のカギは人口・産業の集積にある

- ・Face to Faceの情報交換による新たなビジネスチャンスの創出
- ・産学官の緊密な連携による最先端の技術開発により、国際競争力のある新産業の創出
- ・新商品やサービスの質が高く、消費者の目が肥えた市場による厳選

多くの企業は知的創造の源泉である研究開発部門や研究開発型工場を大都市圏に立地(理由)・研究情報の収集、発信の容易性 ・知的人材の労働市場への近接性

- ・人、企業間の交流拠点性 ・サポーティングインダストリーの集積
- ・本社、既存工場、関連企業、ユーザーとの近接性

大規模再開発ビルによる職住遊学が近接した複合空間での活発な知的創造
・六本木ヒルズ、丸の内ビル、秋葉原クロスフィールド
最先端の研究開発の場の形成による特定の産業集積

- ・神戸医療産業都市
- ・諸外国の取組例
- ・韓国 - 産業別首都 ・中国 - 三大産業集積 ・ドイツ - バイオクラスター

広域ブロック単位で国、地方公共団体、経済界が連携して推進

ブロックごとに協議会等で重点整備プログラムを策定し、集中投資を行う。現在の県単位の取組では、広域調整等に限界があり、ブロック単位で限られた資源を集中して活用することが必要。

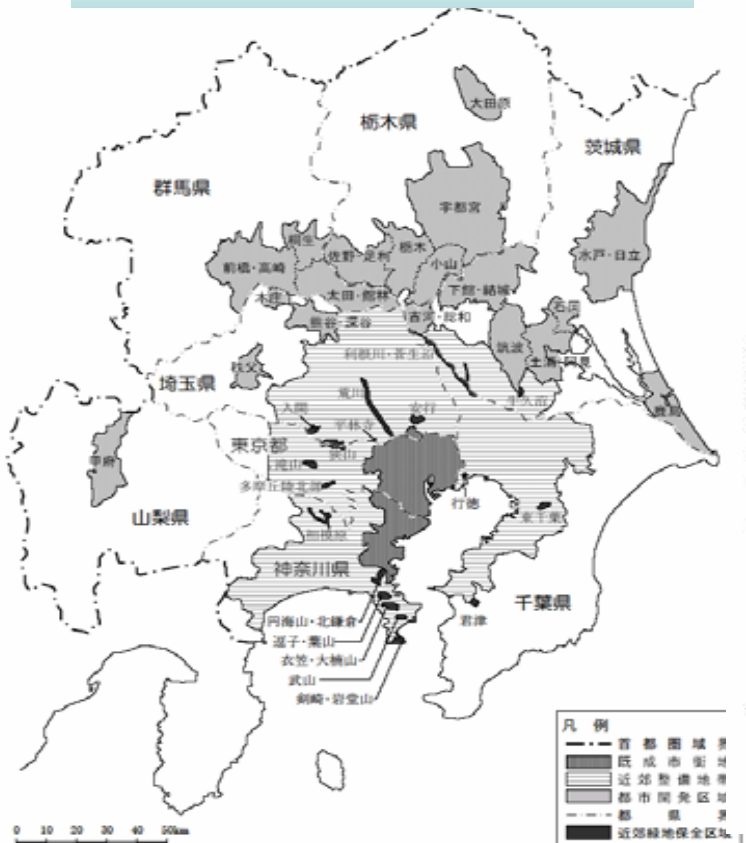
大都市圏制度調査専門委員会において検討

・3月30日(木) 第1回専門委員会開催 ・平成18年9月 中間とりまとめ(予定) ・平成19年 委員会とりまとめ(予定)

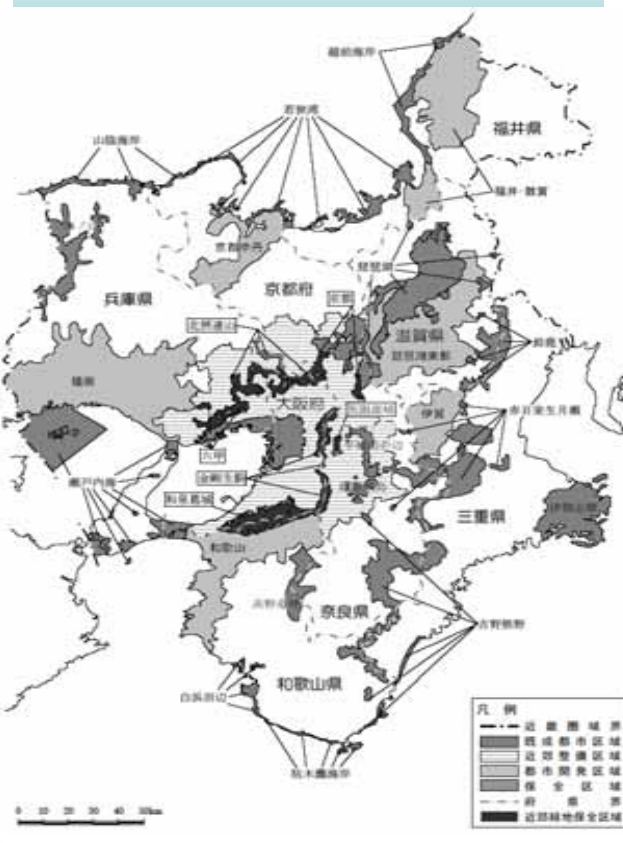
大都市圏整備に係る制度について(政策区域)

- 既成市街地等** ...産業及び人口の過度の集中を防止し、かつ都市の機能の維持及び増進を図る必要がある市街地の区域
- 近郊整備地帯等** ...既成市街地等の近郊でその無秩序な市街地化を防止するため、計画的に市街地を整備し、あわせて緑地を保全する必要がある区域
- 都市開発区域** ...既成市街地への産業及び人口の集中傾向を緩和し、首都圏の地域内の産業及び人口の適正な配置を図るため、国土交通大臣が工業都市、住宅都市その他の都市として発展することを適当として指定する区域

首都圏(昭和32年12月~)



近畿圏(昭和40年5月~)



中部圏(昭和43年11月~)

